

三木地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和6年10月18日(金)
午後7時00分～午後8時30分
- 2 場 所 中央公民館 4階大ホール
- 3 参加者 三木地区 46人
市 20人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、企画政策課長、経営管理課長、市民協働課長、文化・スポーツ課長、生涯学習課長)
オブザーバー 8人
傍聴者 11人

4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 三木市立堀光美術館の老朽化と建替えの検討について

【三木地区】

市政懇談会の議題として取り上げたので、一度、地区の役員で堀光美術館に見学に行った。障害のある方に対するバリアフリー化がされていないことに加え、スライドドアのレールに出っ張りがあり、高齢者がつまづく原因となるため、対策してほしい。

また、2階へあがるためのエレベーターが無い。車椅子の来館者は介助を受けることでしか2階へ行くことができない。来館者だけでなく、物の搬入、搬出にも不便ではないか。

さらに、2階には空調の無い保管庫がある。その保管庫は窓も多く、光、温度、湿度の管理に不安を感じる。建替えの際には考慮してほしい。

【教育総務部長】

保管庫については、状況を確認し、展示物等に影響が及ばないよう気を付けていく。スライドドアのレールも確認し、対応を検討する。その他、ご指摘の点についても、来館者の方に不自由がないようにできることは対応していく。

【三木地区】

歴史美術の杜みゅーじあむ構想はどうなったのか。美術館、資料館の集約化計画について将来設計を説明してほしい。

【文化・スポーツ課長】

建物はまだ修理して使えると判断している。史跡である現状の土地では建替えはできず、3施設まとめて移転先の協議が必要だと考える。移転後は歴史公園などを想定しているが、現状未定である。

【三木地区】

建て替えがまだ先のことならば、車椅子の方などを乗せるためのリフトを付けてはどうか。

【文化・スポーツ課長】

ご提案の内容についても、検討したものの、階段が狭いため、リフトを付けると荷物が運べなくなることや、安全面を考慮し、リフト設置は困難であると判断した。

イ 複合施設整備事業の基本計画策定について

【三木地区】

回答内容について、質問する。1点目は民間事業者からの提案とあるが、民間事業者とはどこの会社か。2点目はホテルについて、再度事業者にヒアリングを行うとしているが、この民間事業者とは。3点目は都市再生整備計画の協議内容等について。4点目は中央公民館等施設複合化検討委員会と回答に記載があるが、中央公民館等複合施設プロジェクト会議もあるが、これらの違いはなにか教えていただきたい。

【生涯学習課】

1点目は、現在契約しているコンサル事業者ではなく、来年度プロポーザルを実施し、来年度以降、複合施設を設計施工する事業者のことである。2点目の再度ヒアリングを行う事業者とは、現在契約しているコンサル事業者が当該複合化事業に興味を持たれている事業者に意見を聞いている。その意見を聞いている事業者などのことである。4点目について、まず中央公民館等施設複合化検討委員会は、令和4年度に関係部課長により組織した庁内検討委員会であり、ご指摘のあったプロジェクト会議は、当該事業の基本計画や来年度の事業者選定について検討をする別の組織である。

【都市政策課長】

3点目の都市再生整備計画は、複合施設の整備にあたって交付金を活用するために必要な計画である。今年度来年度の2ヵ年で策定する予定であり、現在、この計画に何か関連する事業がないか、庁内で洗い出しを行っている状況である。

【三木地区】

商工会議所にやはりホテルを併設していただきたい。若い人を取り込めないとまちの発展はない。吊り橋を含め、新しくなった三木駅に仕掛けをしていくことで地区の活性化を図ってほしい。

【市長】

商工会議所からも多く意見をいただきながら計画を進めている。人口減少を止める努力の一方で、人口減に応じて施設などの縮小も図らなければならない。そのため施設複合化事業は利便性を高めるために4施設の集約、それに伴う延べ床面積の減少が大前提であり、その上で商工会議所の参画ということで進めている。ご指摘の内容も含め、採算が取れるという民間事業者からの提案については、大いに歓迎したいと考えている。

ウ みっきい夏まつりの開催方法について

【三木地区】

昔のように美囊川の花火が見たいという意見が地区内である。3号玉より小さい花火なら河川敷での打上げは可能なのか。また、地域の祭りとの開催日が重なると人がおらず、地域の祭りができないため、開催日の検討を願いたい。

【市民生活部長】

1点目の河川敷での花火打上について、提案にあった高木方面での河川敷では、花火の燃えカスが稲穂に降り注ぐ可能性があり、それら全てを撤去することは困難であり、周辺の市民の皆さまに迷惑がかかることが危惧される。よってご提案の河川敷での花火打上は困難であると考えます。

2点目の来年度の開催日などについては、今回頂いた意見も考慮して今後実行委員会にて検討していく。

【副市長】

かつての美囊川での花火は、企業の寄付金を資金とし、商工会議所と市が共催で行っていた。現在は市民まつりであり、企業と自治会の寄付金、市の補助金を資金とし、実行委員会方式で運営している。地域、そして市民の意見が、花火の打ち上げのみでもよいとなれば美囊川に戻すことも可能かもしれないが、市民まつりとして開催することは困難である。

【三木地区】

今年度の夏まつりには、警備費に多額を要した。防災公園で開催するため、毎年、多額の警備費を支出していくのか。

【市長】

今年度は急激な物価高騰などの特別な事情があり、警備費などすべての経費が高騰した。市民の寄付金や企業の協賛金は花火費に使うべきと考え、議会の了承を経て警備費などに400万円の追加補助を決めた。

これらの状況を鑑み、夏まつりをやめるのも選択の一つである。また、市から補助金を出し、各地区で花火大会を開催する方法などもある。市内各地区の代表が集まる実行委員会において、議論を行い、次年度以降の開催方法等を決定していく。

エ 市公共施設トイレのウォシュレット設置について

【三木地区】

利用人数が少ない公共施設のトイレにはウォシュレットを付けないのか。三木鉄道記念公園のトイレ、本町の市民トイレと三木コミュニティスポーツセンターのトイレの改修時期が決まっていれば教えていただきたい。

【市民生活部長】

市民トイレの改修時には洋式化を進め、最低男女それぞれに1か所はウォシュレットの設置を考えている。

改修時期は、市内8カ所の市民トイレを一度に改修することは困難であり、古い市民トイレから1年度1か所改修していく予定である。

【生涯学習課長】

三木コミュニティスポーツセンターのトイレは市民トイレではないが、今後、中規模改修を予定しているのでウォシュレット設置も前向きに検討する。